

What a Wonderful World

- 9年目の Happy Doll Project -

体の痛みより 心の不安でいっぱいになる時がある。
再発を知って 絶望的に思えることもある。
先が見えない日々に 鬱々と引きこもることもある。
ひとりぼっちで闘うのが 悲しくなる時もある。

そんな時 気持ちがほぐれるおしゃべりができて
同じように苦しみもがく人が世界中にたくさんいると気づけたら・・・。
目が覚めるような多彩な布や材料に触れながら
願いをこめて好きなものをつくり できた喜びを分かち合えたなら・・・。

きっと心温まり 明日を生きるささやかな希望がわいてくるに違いない！

そう願いながら 今年も Happy Doll Project は旅を続けました。
日本国内の6病院と東北の被災地21ヵ所
さらには空を飛び 海を渡り 南アフリカ4ヶ所の子どもたちの元へ！

心の応援を求めている子どもたちが南アフリカにもいる！と知っての展開でした。
エイズや貧困、親との死別や性的虐待といった過酷な運命の子どもたちは
自己表現できる機会を大きな喜びにかえて 旺盛な創作意欲で創り 生み出し
輝くばかりの笑顔で私たちを感動させたのであります。

今 この地球上で共に生きる子どもたち 人々をたまらなく愛おしく思います。
国内外のあちらこちらで 子どもたちや人々との出会いを繰り返すうちに
みんな この同時代をともに生き抜き 苦楽を共にする同士に思えてきたからです。

これからも私たちは 病院でおしゃべりしながら共に生み出すひとときに感動し
仮設住宅に暮らす人々や 世界の子どもたちと出会えた奇跡に感謝し
別れの瞬間は胸がいっぱいで言葉につまり またの再会を切に願ひ続けることでしょう。

そして 生まれた作品は人と人をつなぎ 笑顔をつないでいくと信じています。

みんな みんな 元気になあれ！

2014年10月27日
Founder of Happy Doll Project
高橋雅子

